

2023年2月21日

国立大学法人徳島大学長
河村 保彦 殿

徳島大学教職員労働組合
中央執行委員長 今井 晋哉

徳島大学の財政についての資料提供の再度の依頼

日頃より徳島大学の充実発展のためにご尽力されていることに敬意を表します。

さて先日は、組合からの財政についての資料提供依頼のご回答をいただき、ありがとうございました。組合からの「令和4年度の予算のうち、令和5年1月～2月等の段階で、現金の剰余により他の使途に使うことが可能な金額は？」という質問に対し、「令和4年度予算については、自然災害による被害や新型コロナウイルス感染症対策等、不測の事態に備えるための予備費（50,000千円）を除き、当初の予算配分に基づき各事項に配分済みです」とのご回答をいただきました。

予算が配分済みであることは承知しておりますが、例年、1月～2月ごろに「再配分」が行われているのではないかと思います。たとえば、先の学長懇談では「昨年度の人勤に基づき賞与を削減して浮いたお金はいくらぐらいであったか」との質問に対して、「1億4,300万円ほどであった」とのご回答がありました。当方の質問の意図は、こうした当初予算との差額で使用可能な現金がいくら発生したか、あるいは発生する見込みか、ということでした。

ご質問の趣旨をご理解の上、下記につき再度ご回答たまわれれば幸いです。以上のご説明で趣旨がなおご不明の場合には担当者に直接ご説明いたしますので、その旨お知らせください。

記

- ・ 令和5年1月～2月の段階で、当初予算との差額等により発生した現金の剰余の額。

以上